

新交通システム 日暮里・舎人ライナーと都電 荒川線に 新型車両を導入しました

東京都交通局では下記のとおり、「人にやさしい」を設計コンセプトに、日暮里・舎人ライナー及び都電荒川線に新型車両を導入しました。

1 日暮里・舎人ライナー新型車両330形

①導入数：1編成（5両）

②特長

- ◆ デザインは、シンボルカラーのグリーンとマゼンタを大胆に両端部に配置し、側面には縦縞のストライプを用いた新世代車両の新しさを表現しました。
- ◆ 座席を全てロングシートとし、車内空間を広くして、混雑緩和を実現しました。また、荷棚を新たに設置し、吊り手も増設しました。
- ◆ 紫外線/熱線吸収ガラスを採用しました。
- ◆ 乗り降りをスムーズにするため、両開きドアを採用しました。
- ◆ 車内照明、前照灯及び尾灯をLED式とし、更なる省エネ化と長寿命化を図りました。
- ◆ 交通局や東京都の事業PRや告知など、お客様への案内情報の充実を図るため、車内に2画面の液晶画面モニタを導入しました。



③運行開始日

平成27年10月10日（金）

2 都電荒川線新型車両 8900 形

①導入数：2両（オレンジ）

今後、ブルー、ローズレッド、イエローの車両を平成28年度までにそれぞれ2両導入する予定です。

②特長

- ◆ 直線を基調としたすっきりしたデザインとし、運転台脇の視界を広くすることで、安全性の向上を図りました。
- ◆ 車内出入口付近の通路幅を拡大し、スムーズな車内移動を実現しました。
- ◆ 縦手すりを車内各所へ設置しました。
- ◆ 出入口付近の吊り手や降車押しボタンを増設しました。
- ◆ 紫外線/熱線吸収ガラスを採用しました。
- ◆ 親しみのある、都電荒川線のマスコットキャラクター「とあらん」をシート柄に採用しました。
- ◆ 環境への配慮として、LED式車内照明、VVVF制御装置(*)を採用しました。
- ◆ 交通局や東京都の事業PRや告知など、お客様への案内情報の充実を図るため、車内に2画面の液晶画面モニタを導入しました。

(※)VVVF制御装置

直流電流を交流電流に変換し、交流モーターで電車を走らせる制御装置。

直流モーターに比べて軽量小型で保守がしやすく、エネルギー効率も改善される。



③運行開始日

平成27年9月18日（金）